



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
「老いた家 衰えぬ街」著者：野澤千絵 出版：講談社現代新書



今号のおすすめ
ライブラリー
こちら!



2033年には約3戸に1戸が空き家となる(野村総合研究所)。群馬県においては、平成16年をピークに人口減少に転じており、また、家族構成の変化(単独世代・核家族世帯化)により、世帯数は増え続け、「空き家予備軍」が大量発生している。今後、大量相続時代の到来によって「空き家問題」が顕在化されると思われる。

本書は、誰にとっても身近な「空き家問題」について、様々な切り口から論じられており、各個人でできる「住まいの「終活」」なども提言されている。

例えば、「古くからの住宅団地」や「まとまった農地エリア」等よりも、「無秩序に開発が進んだエリア」の空き家が、最も利活用の方向性を見いだすのが難しいとの事例も示されている。これから戸建て等の購入を考えている人は、その物件が、自分の死後、売りに売れない、貸すに貸せない、そして維持費のかかる「負資産」となって、子、甥、姪など次世代に負担をかけるものにならないか考えても良いのではないだろうか。

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

NPO法人 住・環境支援ネット 吉垣内英子



吉垣内英子さん(下段左端)



講座の様子

いつも「おっ!!まっちい~」を楽しく読ませていただいています。私は、前橋工科大学発ベンチャーの建築士事務所でバウビオロジーに根差した建築設計をしています。私生活では、小学生の子供をもつ母でもあります。学生時代には都市計画を学んだこともあり、また一市民としてまちづくりへの興味があり講座に参加させていただきました。

パートナーネットワーク講座はファシリテーターの養成だけではなく、まちづくりへの参加の楽しさを教えてくれる講座です。まち歩きを通して町の魅力や問題を発見し、限られた時間内でグループ丸となって一つの目標にむかって努力します。それはまさに、小さな種から花を咲かせるプロセスに似ています。大切な事は種を見つけて上手に育てること、一緒に育てる仲間をもつことなのだと思います。

高齢化や人口減、相次ぐ災害など私たちを取り巻く環境は難しい局面をむかえています。しかしどんな時も子供たちの未来は明るくあって欲しいと考えています。その為に大切なものが、子供たちが育つ魅力あふれるふるさとだと思います。沢山の花を咲かせる素敵なるさつをつくる為に講座での経験を生かしていきたいと思っています。

マーチィの掲示板

国土交通大学校に行きました!!

皆さん、こんにちは。群馬県都市計画課まちづくり室企画推進係の高橋です。
2019年1月21日から2月1日までの12日間、東京都小平市にある国土交通大学校で行われた「区画整理研修」を受講してきました。

この研修では、区画整理の制度や関連法令、税制といった基礎講義や換地計画実習といった実務的な講義により、土地区画整理事業の一連の流れを学ぶことができました。

また、班で行うゼミナールでは、埼玉県草加市谷塚駅西口地区を課題地に設定し、現地視察により地区の特性や課題を整理した上で、まちづくり基本構想を検討するというものでした。短期間でまちづくりのコンセプトや施策(ハードやソフト事業)を検討し、まとめ上げる作業は大変疲れました。ただそれ以上に、全国各地から参加しているメンバー達と昼夜問わず多くの意見交換を行い、また様々な考え方に触られたことで、とても有意義な研修となりました。

今後は、今回の研修で得たものを県内の土地区画整理事業に生かせるように精一杯頑張っていきたいと思っています!!



(左端が高橋)

